

高柳飛天の一年に

校長 伊佐治 芳巳

創立44年目を迎え、高柳は地域も学校も、昇竜の勢いで、ますます大発展を遂げています。2年目の本年も、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

校歌三番の歌詞に「古い歴史をだいてる丘よ、森や貝塚たずねる道よ」と歌われているように、高柳は古来、歴史や文化が輝きを放つ台地でありました。縄文の時代には早くも大津川流域に縄文人が定住し、生活文化の芽生えがありました。その後の歴史変遷の中でも、交易の道となり、情報発信の地となり、人を育み歴史を刻んで来ました。

「高梁柵（たかやなぎ）は、小金牧以前から軍馬の飼育基地で姓を持った人達が住んで管理の任に当たり、その人達の基が古墳等に残されている」

（沼南台地の年輪）「このことから、高柳という地名は、馬を囲う施設から生まれた地名と考えられる」と本校第3代校長：松岡満三先生は記されています。

「①明るく元気に挨拶しよう！②目標を持って挑戦しよう！③友だちと親切な仲の良いクラスをつくろう！」を実践目標に、伝統ある高柳小学校に「ゆたかに・かしこく・たくましい」やなぎっ子を育てていきたいと考えています。地域・保護者の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。